

様式1 令和3年度 山梨県立身延高等学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針 「学び」の学校づくりを推進し、「文武両道」の実現を図り、活力ある学校づくりを進める。さらに、地域とともにあり、信頼される学校づくりを推進する

山梨県立身延高等学校校長 佐野 隆弥

本年度の重点目標	1 自主的創造的な学習態度の育成
	2 剛健の気風と豊かな人間性の育成
	3 規律節制を守る自律的生活態度の育成
	4 魅力づくりに努め、地域とともにあり、信頼される学校づくりの推進

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価						
番号	評価項目	本年度の重点目標 具体的方策	方策の評価指標	年度末評価(令和4年3月16日)		
				自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	自主的創造的な学習態度の育成	① 適切な宿題・課題、ICTの活用による授業外学習時間の確保と習慣化を目指す。 ② 年次目標や進路目標に応じて行事・講師を精選し、質の高い講演会を効果的な時期に実施する。 ③ ポートフォリオ導入など適切な進路情報の提供と、進路目標に応じたきめ細かな指導を行い、進路志望実現率を向上させる。 ④ 授業や生徒の学習を改善するために、観点別評価の修正および改善を行う。	各教科の連携による適切な学習課題を与え、継続的に取り組ませる。(授業外学習時間調査) 進路目標に応じた各種ガイダンスを設定し、進路意識を高めるきっかけとさせる。(生徒の満足度) 的確な進路志望の把握と進路目標に応じた学習環境の提供により意中の進路を実現させる。(進路実現率) 3観点での評価方法および評定決定方法について作成する。	・家庭での学習に向けた指導がなされているかどうかについては、生徒、保護者ともに7割程度にとどまった。 ・基礎学力定着を目標に、授業外学習時間の増加を目指し、クラスターを利用して調査することができた。 ・授業外学習時間を入力することが、必ずしも学習時間の増加につながっているわけではないが、学習することを意識する生徒の増加につながっている。 ・コロナ禍の中で、進路行事が実施できなかったり、実施できてもオンラインでの実施となり、対面での実施と比べるとやや不十分な部分もあった。 ・3観点の観点別評価について、2回の定期テストで試行を行い、各教科の状況の共有と課題点をあげることができた。	C	・すべての生徒が家庭での学習に取り組めるような指導を検討していく必要がある。 ・授業外学習時間に関しては、調査方法は確立できたが、時間数の増加や定着を図るまでには至らなかった。 ・次年度は、生徒自身による振り返りを行い、学習態度の育成に向けた取組を進めていきたい。 ・進路行事についても、オンラインでも十分に情報が得られるよう、業者にも相談し、検討していく。 ・3観点の観点別評価について、教科や教科間において、十分に情報共有を行いながら、進めていくことが必要である。
2	剛健の気風と豊かな人間性の育成	① 本校の実情にあった部活動や委員会のあり方の検討や活動状況の把握に努め、さらなる活性化を図る。 ② 業務の効率化を図り、放課後等に生徒相談を行う。	教員数減に伴う部の見直しを図るとともに、生徒の状況を把握して指導を行う。(部活動・委員会活動満足度) 設定したきずなの日を活用する。	・教員数、生徒数の減少に伴う部活動の見直しを年度末に行うことができた。また、3年間の創意工夫の結果、関東大会や全国大会において優秀な成績を残すことができた。 ・きずなの日を活用できなかった面もあるが、相談等の対応については、90%以上の肯定的な意見が得られた。	B	・部活動に関しては、規程により廃部となるものがあるので、地域の中学校の要望等を反映できるよう整備していく。 ・委員会活動に関しては、生徒主体の活動ができるよう取り組んでいきたい。
3	規律節制を守る自律的生活態度の育成	① 基本的な生活習慣の確立に向けた指導を充実させる。 ② 頭髮・服装指導やスマートフォン等の正しい活用方法の指導を充実させる。	遅刻や健康観察入力の状況等で確認する。 年次やスクールライフ部の記録で確認する。	・朝の健康観察をより丁寧に行うことで、ほとんどの生徒が遅刻することなく登校できている。 ・スマートフォンに関しても、教員の許可のもとで使用する以外は、校内で使用する生徒はおらず、またそれに起因するトラブルも無かった。	A	・校内における生徒の自律的生活態度は確立されつつある。 ・SNS上で表現方法や他人の受け止め方などに注意する必要性などについては、継続的に指導していく。
4	魅力づくりに努め、地域とともにあり、信頼される学校づくりの推進	① 学校運営協議会において、学校の教育方針を伝えると同時に、地域の方から建設的な意見を伺い、信頼される学校づくりに取り組む。 ② 魅力的なHPや情報誌の作成を進め、地域・保護者や中学生に学校の様子を発信・公開する。	学校運営協議会の開催回数や、伺った意見のうち取り入れて改善した項目数で判断する。 HP更新・情報誌発行など広報活動を充実させ、説明責任を果たす。(HP更新・情報誌発行状況)	・学校運営協議会について、昨年度より踏み込んだ内容について議論していただき、本校の課題がより明確になった。 ・HPに関しては、コロナ禍で学校説明会などの行事が中止になった。YouTubeなどを利用して、中学校向けに本校の教育活動について発信するなど、いくつか工夫を行った。	B	・本校の教育活動と学校運営協議会での内容について、定期的に情報共有を行う必要がある。 ・HPに関しては、今まで以上に更新のタイミングを大切にしていきたい。

学校関係者評価	
実施日(令和4年3月23日)	
評価	意見・要望等
3	・授業アンケートの結果を見ると多く生徒が授業の内容に満足しているように思われます。 ・教科指導についての教職員の評価が割と厳しい評価になっています。高いレベルの授業づくりへの意欲だと感じます。 ・進路指導について生徒や保護者の多くが高い評価をしていることが分かります。 ・学習態度については、各生徒に自覚を持たせることが大切だと思います。今後も今まで同様に育成に取り組んでいただきたいと思います。
3	・体験活動や部活動はコロナのために厳しい部分もありますが、可能な実施方法を模索してほしいと思います。先生方が一人一人の生徒の悩みに対する相談体制に力を入れていることが分かります。一方で学校へ行くのが楽しいと思えない生徒が約31%います。こうした生徒への支援をお願いします。 ・定員が少ないからこそ、個人への充実した教育相談が行われていると思います。それを外部にアピールすることで生徒確保にもつながると思います。
3	・教職員のアンケート結果から生徒指導に力を入れて下さっていることが分かります。 ・防災訓練などの安全教育についても力を入れて下さっていると思います。 ・人格形成のためにも貴重な項目なので今後も積極的に取り組んでいただきたいと思います。
3	・学校改善点検シートの結果を丁寧に分析し、今後の学校経営に生かそうとする意欲を感じます。 ・連携型中高一貫教育校として、南部中、身延中との連携に力を入れて下さっていることに感謝いたします。中学生の身延高校に対するイメージもかつてよりアップしてきています。 ・身延山大学にも、芸術専攻、福祉学専攻の教員がいるので、積極的に活用していただきたいと思います。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。